

Janice Pan 香港大学女性協会 CIR/香港浸會大学(Hong Kong Baptist University)文学院准教授
来日の記録 2023年5月

5月上旬、鈴木千鶴子国際ネットワーク委員長より、昨秋コロナ罹患によって延期されたパン博士の来日が、5月23日から決まったと穂田（元 CIR）にメールが入り、本部での対応を検討した。事務所で会の活動ぶりを感じていただき落ち着いてお話しを、と考え、岩村道子会長、加納孝代国際奨学委員長、長谷川瑞穂国際奨学委員と大井恭子国際 NW 委員の都合がつく5月24日午前10時からとし、滞在するホテルに加納委員長がお迎えに出向いた。



パン博士の自己紹介：

現会長 Julia Woo から勧められて香港協会に加入した。CIR として日本の協会との共同事業の可能性を探りたい。奉職する大学の為に日本の大学と joint program を行う可能性を探ることも目的の一つ。来日の旅費と滞在費を出した United Board（アジアの全人的高等教育を理念とするミッション系団体）には、女性の地位向上に関する報告書を出す義務がある。

話題1. 奨学金

日本協会が提供する奨学金には、国内奨学金と国際奨学金があり、それぞれ委員会が活動に咳委任を持っている。かつては世界連盟所属協会の推薦枠があったが、日本国内での「公益法人/一般社団法人改革」後は、その枠は持てなくなったことなどを説明。香港協会も香港に滞在する学生（留学生含む）に奨学金（一時金）20万円相当を提供しているそうだ。会員拡大のために、パン博士は、「奨学生になり」、「海外交流のチャンスが開ける」なら、それが「協会に入会し、定着する」といった道筋を描かれているようで、会員獲得はどこも課題らしいと感じた。

話題2. 交流事業

協会同士と一緒に出来る事業を探りたい、とのお申し出に対しては、GWI の提唱する会員広場（Membership Marketplace）を紹介した。協会単位、支部単位、個人単位のネットワークづくりである。日本のある会員が日本語をインターネットを使って教えることを考えている、と一例を紹介した。交通費がネックになると考えられるため、香港の観光名所をネットで紹介してもらうなど、手始めには敷居が高くないものもいいかもしれない、と日本サイドは考えた。香港と日本だけの二国間交流よりも、GWI の枠組みで取り組む方が安心だと思われるためである。

話題3. ご専門その他

パン博士の関心領域は芸術や異文化交流にも及び、翻訳学ではコーパスを使っての通翻訳の分析を研究なさり、会社も立ち上げていらっしゃるとのこと。コーパス言語学の見地からは新しい試みである。その日は、以前の同僚とランチの約束のために、会合は11時半に終了し、渋谷までを加納委員長が同道したが、夕方には池袋の立教大学訪問が組まれていた。翌日は東京大学で“AI and Arts” と題する講演をなさると伺った。若々しい彼女の積極性に一同感心した出会いだった。（文責 穂田信子）

